

工学部社会デザイン工学科

学位（教育）プログラム名：社会デザイン工学

❖ 養成する人材像・教育課程の特色

自然環境と調和した生活環境の創造に貢献する人材を養成することを目標としています。この目標に基づき、地球及び地域の環境問題を直視して自然と調和しながら地震や洪水などの災害に強い社会資本整備を行うための建設技術を習得し、強い責任感と倫理感を持って次世代に豊かな生活や文化を継承し続けられる社会のデザインに取り組み、社会で活躍できる人材養成を行います。これを実現するために、建設工学各分野（構造系、水理系、地盤系、計画系、材料・施工系、環境系）を学ぶプロセスでは、基礎的な知識を学ぶ導入科目から、より高度な専門知識まで体系的に学べるようになっていきます。また、多くの実践的な実験・実習科目も組み込まれており、専門的な知識の習得のみならず実社会で通用する土木技術者を養成するための教育課程となっています。

❖ 求める人材像（求める能力）

● 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学修し、工学を学ぶに十分な基礎学力を有している人

● 技能

社会の問題を自ら調べ倫理的思考に基づいて、自分の意見を論理的に説明することができる人

● 態度・志向性

高度な専門知識と倫理観を身に付けた技術者になることへの夢を持ち、専門知識を社会のために積極的に活用したいと考えている人

● その他能力・資質

自己研鑽により英語の資格を取得した人や課外活動等で顕著な成績をおさめた人

❖ 入学者選抜のねらい

社会デザイン工学科では、建設工学に対する興味を持ち、『人々が、安全かつ快適に暮らせるための社会基盤整備を実現したい』との想いを持った入学者を求めています。

そこで、建設工学を学ぶために必要となる基礎学力はもちろんのこと、建設工学を学ぶ意欲や資質などからも受験者を評価し、多面的・総合的に入学者を選抜する多様な試験を実施します。